

魔裟斗を目指す人も、
体力作りがしたい人も両方OK!

Silver Wolf Kick Boxing Gym

シルバーウルフジム



K-1 MAXの立役者であり、昨年末に惜しまれながら引退した魔裟斗が所属していたことで知られるシルバーウルフジム。設備も人材も充実しているこのジムの特徴を、「魔裟斗の盟友」大宮司進トレーナーに聞いた。

一般会員とトレーナー陣で記念撮影。和気あいあいとしながらも引き締まった空気があるのが、このジムの特徴だ

三軒茶屋駅北口から茶沢通り沿いに約7分ほど歩いていくと、右手にいきなりでっかいゴリラが見えてくる。このビルの2階に、魔裟斗が所属していたシルバーウルフジムが入っている。

「シルバーウルフ」という名前を聞けば、やっぱり思い出されるのは魔裟斗の名前だ。実際のこのシルバーウルフジムについて、「魔裟斗が経営するジム」「魔裟斗が教えてくれる」と思っている人は多い。だが、05年の開設当初から現役選手としての活動を続けながらトレーナー、インストラクターを務める大宮司進氏は首

を横に振る。

「あんまり知らない人はそう思ってると思うけど、あくまで“魔裟斗君が所属してたジム”ってことで、教えはしません。見学に来た人からもよく聞かれるんで、そこはちゃんと説明してます」

トレーナーには大宮司氏(レディース、KIDSクラス担当)の他に、魔裟斗を教えていたタイのヌアトラニー(プロ、ムエタイクラス担当)、今回の取材にも応えてくれた大野 憲氏(ダイエット、フィジカル、ビギナー、KIDSクラス担当)、K-1 MAXのリングで活躍する白須康仁(ビギナー、レディースクラス担当)などなどが名を連ねる。会員数も200人を超えるとあって、トレーナーの陣容も豊富だ。

ジムの特色を、大宮司氏はこう説明する。

「キックボクシング団体の加盟じゃないジムとしては、日本で第1号なんです。どの団体にも出られる環境があるので、プロとしてはチャンスが多いジムですね。ただ、魔裟斗君の印象が強いからプロを作るジムと思われがちだけど、全体的に見ればそんなことはないんです。80～90%は一般のお客さんで、そう

いう人たちも練習しやすい環境を作っています」

現在、10人前後のプロ選手を抱え、K-1 MAX日本王者の長島☆自演乙☆雄一郎のように、所属ではないが練習拠点としている選手もいる。だが、彼らプロの練習は4時～7時までに限定されている。

「それ以外の時間、ウチのジムではプロは練習しちゃダメってことになってるんです。一般会員が練習する横でプロがボコボコのスパーリングとかやってたら引かれるじゃないですか(笑)。7時以降はプロ選手たちがインストラクターとして一般会員を指導します」

他の多くのジムと同様に、レディース、ダイエット、KIDSなどのクラスも設けられており、「40～50代のオジサンもけっこう頑張ってますよ」という。大野氏は一般会員を指導する方針を、こう説明してくれた。

「基本は楽しく。入口を広くして、できるだけ参加しやすいようにしてますね。体を使う楽しさを感じてもらうように心がけています。技術うんぬんよりも達成感を味わってほしいですね。楽しんでその日のクラスを終えてもらうように」



リングでは、魔裟斗を指導していたヌアトラニーがミットを持つ。彼はムエタイクラスも担当している



余裕のある広さのジムには、サンドバッグも6基設置されている。みな熱心に汗を流している

ただし、楽しむだけがジムの全てでもない、と大宮司氏。

「あまりにもフィットネスになっちゃうのもどうかというのもあって、アマチュアの試合に参加する人も多いですよ。大会とかでも、ウチから出てる選手は半端じゃなく多かったです。それに僕はKIDSクラスも担当してるんですけど、親御さんが連れてこられるケースが多いんです。親御さんとしては、学校の先生があまり怒らないから、厳しさを教えてほしいという要望もあるんですよ。その方が立派な大人に育つと。だから、ウチは空手道場じゃないけど、礼儀に関してはビシビシ教えてますよ」

一方のプロ部門では、無敗だったり1敗しかしていなかったり、有望視される選手も多い。特に、魔裟斗と同じ70kg級でイキのいい選手が多いのが特徴だ。

「魔裟斗君にガンガンやられてた選手もいますからね。彼の現役時代を見ているし、みんな目線は高いですよ。実はウチでプロデビューするのは他のジムよりちょっと大変で、ハードルは高いんです。だけど、プロとして

デビューして活躍したいんだったら、これ以上の環境はないと思いますよ」

やはり、基本に置いているのはK-1スタイルだ。「僕自身が正道会館出身だし、K-1が始まった頃、アンディ・フグとかと一緒に練習してたやり方でやってます。サンドバッグならサンドバッグ、スパーならスパーで、みんないっぺんにやる方法ですね。オランダとかチーム・ドラゴンとかもそうですけど、スパーもいろんな相手とできるし、うまい人間を見ることができる。ムエタイのジムが何でうまくなるかと言ったら、子供の頃から超一流の選手と一緒にいるからなんです。そういう意味では長島選手とか見られるし、集団の中でも闘いがあって、頭角を現した者がどんどん活躍していくという図式ですね」

プロは厳しく、一般は楽しく。ただ、一般の中から上を目指したいという者が

出てくれば、いくらでもチャレンジすることができる。「アマチュア、セミプロ、プロという三角形がうまくできていて、どこに出てもいい」という仕組みがうまく機能している。

昨年末からシルバーウルフジムを練習拠点にしている長島☆自演乙☆雄一郎が連敗から復活して日本王者になったことで、大宮司氏のトレーナーとしての力量も注目されてきている。本人は「そこで成功したいわけじゃないんで、あんまり取り上げてほしくないですよ」と苦笑するが、続くひと言には彼の選手を思う気持ちが象徴されていた。「でも、一生懸命やっている選手はほっとけないですから」。

魔裟斗も大宮司氏も、現役時代は妥協を許さない練習と試合ぶりで知られた。見た目もこわもてだけに、「怖そうなジム」と思われているフシも……。

「そこはしょうがないかなと（苦笑）。僕がそう見られるんで、うまいフェードアウトしてって、彼（大野氏）に頑張ってもらえばいいかなと思ってます（笑）」



シルバーウルフジム

〒154-0007
東京都世田谷区太子堂3-15-2ゴリラビル2F
TEL 03-3419-4900
<http://www.silverwolfgym.co.jp/>

プロとしてガッチリ頑張ってるK-1で第2の魔裟斗を目指すもよし、楽しんで体力作りに励むもよし。どちらを志向する人にも対応できるシステムが確立されている、それがシルバーウルフジムの何よりの強みだ。最後に、大宮司氏からメッセージをもらった。

「プロの選手、K-1を目指したいという選手に対しては、デビューのハードルは高いけど、やった分のチャンスは与えられます。ホントに活躍したいんだったらウチに来てやるのがいい。一般の人にも、技術がどうこうというより楽しんでやれる環境があります。怖くはないです（笑）」



チーフトレーナーの大宮司氏は、現役時代ISKA世界スーパーフェザー級などの王座を獲得。トレーナーとしての能力も評価が高い



一般クラスを担当する大野 憲トレーナー。「楽しんでもらうこと」を第一に指導にあたっている